

祝 辞



(社) 日本設備設計事務所協会
会長 福西 輝男

設備設計の技術者集団として県民の為に地域に密着した活動を。

(社)沖縄県設備設計事務所協会の創立二十周年記念祝賀会並びに、社団法人を取得されたことに対し心からお祝いを申し上げます。沖縄県は復帰後、目まぐるしい発展を遂げられ、同時に貴協会におかれても発展をされたことに心から敬意を表します。これも歴代の会長さんはじめ役員の皆様方が団結をされ、さらに関係各位のご協力ご支援の賜物と思います。今後、貴協会が公益法人として、また設備設計の技術集団として、沖縄県民の為に地域に密着した活動をしていって頂くことを心からお祈り申し上げたいと思います。

(社)日本設備設計事務所協会は皆様と共に共通のテーマである建築設備士の法的位置付け、また分離発注の確保などを大きなテーマにし、活動に取り組んでおります。幸い、80人の国会議員の先生が加入した「設備設計議員連盟」を発足して頂き、建築士法の中に設備部門を位置付けをして頂く運びとなっております。我々がここで団結をし、そして念願である「設備部門の建築士法への位置付け」を実現することで、建築設備士の大きな活躍をできるようになり、また若い世代が自信を持って我々の業界に入ってくれるようになると確信致します。

その他の課題としては、建築士事務所との契約の不備が指摘されておりますが、現在実態調査を踏まえ弁護士や建築団体、設備団体の代表、国土交通省営繕係の関係者で検討会を開かれており、近く良い形の報告ができると期待しております。

こうした課題解決のため、また若い人達にとって希望の持てる業界にしていくためにも我々全国の設備団体の会員がスクラムを組んで取り組んでいくことが大切と思います。

最後になりましたが(社)沖縄県設備設計事務所協会の益々のご発展と会員の方のご繁栄、また本日ご参会の皆様方のご多幸ご健勝をお祈り申し上げましてお祝いの言葉とさせていただきます。

平成15年5月20日



一般社団法人 沖縄県設備設計事務所協会